

引用・参考文献の書き方



1. 引用と
参考文献

2. 引用の仕方

3. 出典明示
の仕方

4. 参考文献
の書き方

1 引用と参考文献

研究活動は、先人たちが積み上げてきた知識（＝先行研究）を踏まえて行います。
そのため、先行研究を正しく引用し、参考にした文献を明記する方法を知する必要があります。

（1）引用の必要性

引用とは『日本国語大辞典』によると「自分の論のよりどころなどを補足し、説明、証明するために、他人の文章や事例または古人の言を引くこと」を指します。

皆さんはレポートや論文を作成するにあたり、自身の主張の信頼性や新規性、独創性を示すために、先行研究や客観的なデータを引用する必要があります。

（2）引用する際の注意点

自身の文章と引用箇所とを明確に区別しなければなりません。他者の文章や意見をあたかも自分のものであるかのように用いることは、盗用・剽窃となり、自身が作成したレポートや論文の価値、ひいては自分自身の信用を失う行為となりますので注意しましょう。

（3）参考文献

論文やレポートを執筆する際には、引用・参考にした資料を提示することが求められます。これは、論文の読者がその先行研究を探して、内容を確認できるようにするためです。

（4）基本ルール

論文やレポートで先行研究を引用する場合には、①引用、②出典明示、③参考文献の記載という3つの基本ルールにしたがって記述します。

① 引用していることが分かるように本文と引用箇所を区別して記述する

② 引用箇所には出典を明示する

③ 引用した文献を記載する

（例）

<本文>

トマ・ピケティは米国における格差拡大の原因について「主に賃金格差が前代未聞の拡大をとげた結果」であると述べている。(1)

<参考文献>

(1) トマ・ピケティ. 21世紀の資本. 山形浩生, 守岡桜, 森本正史訳. みすず書房, 2014, 333p.

①引用の仕方は次ページの②参照

②出典明示の仕方は3ページの③参照

③参考文献の書き方は3ページの④参照

2 引用の仕方

引用には、引用する文章を原文のまま記載する**直接引用**と、引用元の主張を正確に反映した上で、引用したい文章を自分の言葉で要約する**間接引用**があります。

① 直接引用（短い文章の場合）

短い文章を引用する場合は、引用する文章をカギ括弧「」でくくります。

トマ・ピケティは日本の所得格差について「現在の所得格差は 20 世紀初頭よりもはるかに小さく、
「1945 年以降大きな変化はない」と述べている (1)。

《参考文献》

(1) トマ・ピケティ. 21 世紀の資本. 山形浩生, 守岡桜, 森本正史訳. みすず書房, 2014, 333p.

② 直接引用（長い文章の場合）

長い文章を引用する場合は、本文から前後 1 行ずつ空け、さらに行頭を 2 字下げます。

トマ・ピケティは日本の所得格差について次のように述べている。

(1 行空ける)

〇〇 大陸ヨーロッパと日本では、現在の所得格差は 20 世紀初頭よりもはるかに小さいままで、実は長
〇〇い目で見ると 1945 年以降大きな変化はない。(1)

↑ (2 文字下げる)

(1 行空ける)

《参考文献》

(1) トマ・ピケティ. 21 世紀の資本. 山形浩生, 守岡桜, 森本正史訳. みすず書房, 2014, 333p.

③ 間接引用（参考文献を自身で要約した場合）

引用元の文意と異なる要約にならないよう注意しましょう。

トマ・ピケティは日本の所得格差は 20 世紀初頭よりも現在の方がはるかに小さく、1945 年以降大きな変化はないとしている (1)。

《参考文献》

(1) トマ・ピケティ. 21 世紀の資本. 山形浩生, 守岡桜, 森本正史訳. みすず書房, 2014, 333p.



CHECK!

情報の信頼性～インターネット上の情報～

正しく引用することとあわせて、引用・参考にする**情報の信頼性**にも気をつけましょう。

特に注意すべきなのがインターネット上の情報です。Wikipedia やまとめサイトなどは大変便利である反面、匿名で誰でも書き込めるため、根拠に乏しい誤った情報が記載されていることもあります。

「誰」が「いつ」書いたか、「主張の根拠」は何かといった点に注意して、これらの条件を満たした信頼性の高い情報を集めることがレポートや論文を作成する際には必要です。

3 出典明示の仕方

出典を明示する方式には、バンクーバー方式とハーバード方式があります。

① バンクーバー方式

引用箇所に通し番号をつけて、文末に番号順で参考文献を提示する方式です。

トマ・ピケティは日本の所得格差について「現在の所得格差は 20 世紀初頭よりもはるかに小さく、「1945 年以降大きな変化はない」と述べている⁽¹⁾。

引用番号と参考文献リストの順番は対応する

《参考文献》
(1) トマ・ピケティ. 21 世紀の資本. 山形浩生, 守岡桜, 森本正史訳. みすず書房, 2014, 333p.

② ハーバード方式

引用箇所に著者名、出版年を示し、文末に著者名順で参考文献を提示する方式です。

トマ・ピケティは日本の所得格差について「現在の所得格差は 20 世紀初頭よりもはるかに小さく、「1945 年以降大きな変化はない」と述べている (ピケティ, 2014)。

参考文献リストは著者名の五十音順で記載する

《参考文献》
トマ・ピケティ. 21 世紀の資本. 山形浩生, 守岡桜, 森本正史訳. みすず書房, 2014, 333p.

4 参考文献の書き方

参考文献の書き方は、学術分野や投稿する雑誌によってスタイルが指定されているので、提出先に確認しましょう。ここでは、よく用いられる 3 つのスタイルを紹介します。

① **SIST スタイル**：日本の科学技術振興機構が定めたスタイルです。日本国内において文系・理系を問わず広く活用されるよう策定されました。

① 論文	著者名, 論題, 掲載誌名, 出版年, 巻数, 号数, ページ数.
例)	檜枝陽一郎. 「ケンブリッジ断片」とヘラルト・レーウ. 立命館文学. 2018, no.658, p.118-91.
② 図書	著者名, 図書名, 出版地, 出版社名, 出版年, 総ページ数.
例)	宮下晋吉. 模倣から「科学大国」へ : 19 世紀ドイツにおける科学と技術の社会史. 京都, 世界思想社, 2008, 428p.
③ 図書の一部 (章や論文)	著者名, “章タイトル”, 図書名, 編集者名, 出版地, 出版社名, 出版年, ページ数.
例)	宮本十至子. “納税義務者”. 入門国際租税法. 村井正編著. 東京, 清文社, 2013, p.48-63.
④ Web サイト	著者名, “ページ名”, Web サイト名, 出版年, URL, (アクセス日).
例)	中央教育審議会. “人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)”. 文部科学省. 2018-12-21. https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1412080.htm , (参照 2024-02-02).

② **MLA スタイル**：米国現代語学文学協会のスタイルで、人文科学分野（文学や言語学など）を中心に用いられます。論題を“ ”で囲み、掲載誌名は斜体で表示します。

① 論文	著者名, “論題.” <i>掲載誌名</i> , 巻数, 号数, 出版年, ページ数.
例)	檜枝陽一郎. “ケンブリッジ断片」とヘラルト・レーウ.” <i>立命館文學</i> , no.658, 2018, pp.118-91.
② 図書	著者名, <i>図書名</i> , 出版社, 出版年.
例)	宮下晋吉. <i>模倣から「科学大国」へ：19世紀ドイツにおける科学と技術の社会史</i> . 世界思想社, 2008.
③ 図書の一部 (章や論文)	著者名, “章タイトル.” <i>図書名</i> , 編集者名, 出版社名, 出版年, ページ数.
例)	宮本十至子. “納税義務者.” <i>入門国際租税法</i> , 村井正編著, 清文社, 2013, pp.48-63.
④ Web サイト	著者名, “ページ名.” <i>Web サイト名</i> , 出版年, URL, アクセス日.
例)	中央教育審議会. “人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申).” <i>文部科学省</i> , 2018-12-21, https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1412080.htm , (参照 2024-02-02).

③ **APA スタイル**：米国心理学会のスタイルで、社会科学分野（心理学や社会学など）を中心に用いられます。著者名の後に出版年を提示し、掲載誌名と巻号数は斜体で表示します。

① 論文	著者名. (出版年). 論題. <i>掲載誌名</i> , 巻号数, ページ数.
例)	檜枝陽一郎. (2018). “ケンブリッジ断片」とヘラルト・レーウ. <i>立命館文學</i> , 658, 118-91.
② 図書	著者名. (出版年). <i>図書名</i> . 出版社名.
例)	宮下晋吉. (2008). <i>模倣から「科学大国」へ：19世紀ドイツにおける科学と技術の社会史</i> . 京都：世界思想社.
③ 図書の一部 (章や論文)	著者名. (出版年). 章タイトル. <i>編集者名, 図書名(ページ数)</i> . 出版社名.
例)	宮本十至子. (2013). 納税義務者. 村井正編著, <i>入門国際租税法</i> (pp. 48-63). 東京：清文社.
④ Web サイト	著者名. (出版年). ページ名. <i>Web サイト名</i> . URL.
例)	中央教育審議会. (2018). 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申). <i>文部科学省</i> . https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1412080.htm .

 CHECK!

参考文献の書き方について指定がなかった場合は、レポート内でスタイルを統一してください。
代表的な3つのスタイルのほかにも、日本語論文では人文社会学系を中心に参考文献を書く際に、**論題を「」で囲み、掲載誌名を『』で囲うスタイル**がよく用いられています。
MLA や APA スタイルが指定でも、参考文献が日本語文献だった場合、資料名を斜体で記述せず
に『』で囲って記述することもあります。

参考文献（本資料では SIST スタイルで参考文献を記載しています）

- American Psychological Association. Publication manual of the American Psychological Association : the official guide to APA style. 7th ed, American Psychological Association, 2020, 427p.
- 科学技術振興機構. SIST ハンドブック. 2008 年版, 科学技術振興機構, 2007, 526p.
- 日本国語大辞典第二版編集委員会. 日本国語大辞典. 第二版, 小学館, 2001, 1438p.
- 藤田節子. レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方. 日外アソシエーツ, 2009, 144p.
- The Modern Language Association of America. MLA ハンドブック. 第8版, フォスター紀子, トーマス・マーティン訳, 秀和システム, 2017, 199p.